

共栄火災について

1. 共栄火災の成り立ち

当社は、産業組合を設立母体とする保険会社です。

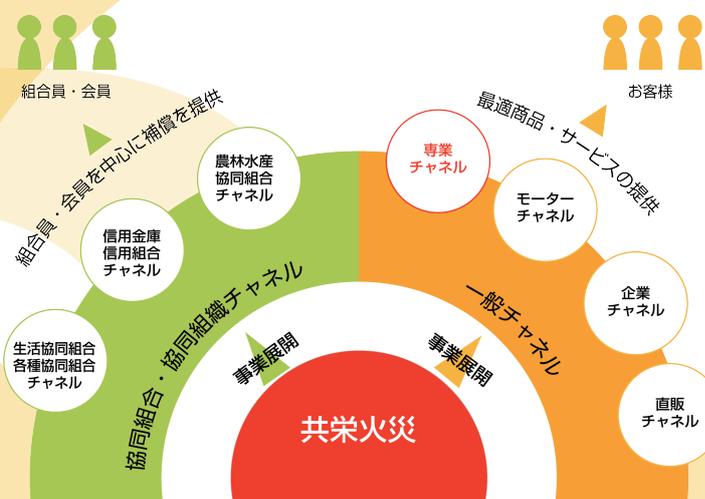
産業組合とは、1900年（明治33年）の産業組合法制定後、組合員の農業・工業・商業・水産業などの産業の発展を図り、組合員の生活の安定を期する事を目的として、著しい普及発展を遂げた協同組合組織であり、その後、農協各系統・森林組合・漁業協同組合・生活協同組合・畜産関係諸団体・信金・信組などの母体となった組織です。

2. 共栄火災のビジネスモデル

当社は農林水産業協同組合、信用金庫・信用組合、生活協同組合をはじめとする各種協同組合・協同組織の前身である産業組合により、農山漁村への保険普及を目的に設立されました。以来、設立母体を同じくする各種協同組合・協同組織との親密な関係を保ちながら、諸団体の事業を補償面でサポートしています。

また、当社は協同組合・協同組織チャンネルという独自のチャンネルのみならず、専門代理店やモーターチャンネル代理店など一般チャンネルにおける事業も積極的に展開し、お客様へ多彩な商品やサービスを提供しています。

今後もこれまで培ったノウハウを活かし、各種協同組合・協同組織とのつながりをより一層深め、当社の強みを活かした事業を展開することで、すべてのお客様にご満足いただけるよう努めてまいります。



3. 共栄火災の代理店施策における考え方

1946年（昭和21年）創業の理念である「共存同栄」と「相互扶助」の精神に基づいた組織形態となるべく、保険会社として日本で初めて、保険業法の規定に基づき株式会社から相互会社へと組織を変更しました。

代理店施策においても、経営理念に基づき、代理店の方々とつながりを重視し、お互いが必要不可欠なビジネスパートナーとして、共に成長していくことが重要であると考えています。

専門チャンネルにおいては、一定の基準をクリアした専門代理店を中心にした組織である『KPC（共栄プロクラブ）』を中心に他社と比較しても遜色のない、専門代理店向けのさまざま支援施策を展開しております。

「つながり強化宣言！」のスローガンのもと、マスコットキャラクターとして、「サイ吉」「サイ花」を採用し、パンフレットやお客様向けツールに登場し、各地域のすみずみにまで安心の輪を広めていきます。

